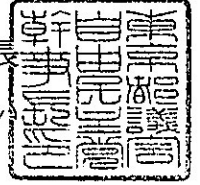


平成 28 年 12 月 1 日

日本放送協会 御中

東京都議会自由民主党幹事長

高木 けい



## 抗議文

本日、貴局が放送された「小池知事 きょう所信表明「政党復活」終了を明言」のニュースの中で、明らかに事実と異なる内容を報道したことに対し、公党として強く抗議します。

本放送の中で、貴局は東京都における政党復活予算の仕組みについて「長年、都議会自民党のためにある」制度であるといった趣旨の報道をしています。

しかし、政党復活予算の仕組みは、ともに都民代表である知事と議会の意思を予算にバランスよく反映させることを目的とした制度であり、都議会各会派（自民、公明、共産、民進等）が都民の声を予算に反映させるために、戦後から長年にわたり続けられてきたものです。

このような事実であるにもかかわらず、本制度が都議会自民党のためにあるかのような報道は、明らかに誤報であり事実の歪曲と言わざるを得ません。平成 28 年度予算を例にとっても、都議会を構成するすべての会派が知事への復活予算要望をしていることから明らかです。

二元代表制は、直接公選された知事と都議会とが互いの代表制を認め合って役割を果たしつつ、抑制と均衡を保ちながら進んでいくことを前提としています。

貴局には、公共放送であるという責任と自覚をもって、地方自治に対する正しい認識をもって報道に臨まれることを強く要望するとともに、内容訂正のコメントを発表するなど、誠意ある対応を求めるものです。